

## 巻 頭 言



### 「楽しく仕事をしよう！」

専務取締役 澁井裕一

技術に、技術開発に携わる皆さん「楽しく仕事をしていますか？」

仕事から離れて、いつ何をしていた時が楽しかったかなと自らの経験を振り返ってみると、幼児、小学生時代など東京の下町で自然やスペース、モノが不足する環境で、本当に単純ですが砂場、ビー球、ペー独楽、三角ベース、かくれんぼ、紙鉄砲、パチンコ（ゴム鉄砲）など工夫して暗くなるまで遊んでいた時は本当に楽しかったですね。時代と共に子供時代の遊びは変化しているでしょうが、単純な遊び1つとっても工夫しながら遊んだことは大袈裟に言えば、その後の人生感にも良い影響を与えてくれたのだと思います。学生時代には、旋盤、フライス盤などを使ってモノを造る、限界ゲージなどを手加工で造る、エンジンの性能向上研究、車の分解組付ではバラして組み直すとボルトが2～3本残って困ったり（それでも問題なく動くのも変ですが）、モノをいじる楽しさに加え手順や標準の大切さも実感しました。

仕事は、大変だ、きつい、厳しいことは間違いないでしょうが、楽しく仕事をするということは自ら考えた、自ら提案した、意思決定に参画して自分が決めたと思えるなど、即ち自主性から生まれるものではないでしょうか。

自動車会社の技術屋として社会人になってからは、部品を設計して、図面を持ち帰り型設計し、工機に持ち込んで型製作をしてもらい、品標を書き、型完成後のトライ、測定、車に取り付けて確認等一連の業務を自分でやるという通しの経験を積みました。技術部から生技部へ、そして希望して工場、海外勤務とこのような面でも幅広く体験する事が出来ました。海外から帰国後、グローバル化急拡大への対応としてグローバル生産推進センターGPCの創設提案、人材育成と生産準備・製造準備改革を目的にベストプラクティスのグローバル展開、造り易く切替え易くをキーワードにした活動で効率化に貢献しました。

振り返ってみるといつも自主的に活動していたので成果もついてきて楽しかったですね。

技術を考える時に、自動車も部品会社を取り巻く環境も激変しています。

高いCO<sub>2</sub>削減目標、脱石油・燃料多様化、発展途上国向け車両・部品・事業、小型/低価格車比率増加、従来型自動車の大幅改良+新構造自動車対応、用途・使われ方の変化など本当に多様な課題に同時に対応していかなければなりません。

勝てる/買って頂ける目標を持つ、加工エネルギーミニマム化、造り易く切替え易い製品/材料/生産技術の同時平行開発、自前開発、地道な基礎データ取り・技術的追求、実現する為の組織/機能を超えたチーム活動、やり切る・手離れをよくすることなどが必要ですよ。

厳しい時だからこそ、なおさら技術者の皆さんには自ら考え行動し、楽しく仕事をして頂く事を期待しています。

最後に好きな言葉を1つ参考に記載します。

「能力の差は2～3倍、意欲の差は100倍」

- ・意欲は能力以上に上げるのが難しい
- ・「能力の限界」のずっと手前に出来ないという「意識の壁」